

うえにー 市議会だより

令和7年12月定例会
令和8年2月16日号

No.104

常任委員会ごとに
車座集会を開催しました！



広報広聴委員会



産業水道委員会



環境建設委員会



総務委員会



教育厚生委員会

テーマ別車座集会を開催しました！

報告は P14 ~ P15 をご覧ください

常任委員会ごとにテーマを設けて開催した車座集会には総勢 145 名の皆様にご参加いただきました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

議会トピックス

CONTENTS

- 議員が自主製作！
令和7年度議会活動報告
動画配信中
- テーマ別車座集会を開催
- 議員22人が市政を問う
- 行政視察報告

目次

令和7年12月定例会概要	2-3
常任委員会審査概要	4-5
12月定例会一般質問	6-13
テーマ別車座集会報告	14-15
行政視察報告	16-18
請願・陳情の審査	19
公職選挙法 / 手話を学ぼう / 編集後記	20



補正 予算3,792万円へ

会期	11月21日から12月15日まで(25日間)
議案	条例案4件、予算案17件、事件決議案14件、合計35件を全て可決と決定
一般質問	22人の議員が一般質問を実施▶▶▶ 質問要旨はP 6から掲載

補正予算(第5号)の主な事業をピックアップ

物価高対応子育て応援手当給付事業 4億6,911万円

物価高の影響が長期化し、その影響が様々な人々に及ぶ中、特にその影響を強く受けている子育て世帯を力強く支援し、子どもたちの健やかな成長を応援する観点から、物価高対応子育て応援手当を支給する。

○対象者

児童手当支給対象児童（令和7年9月30日時点）を養育する父母等



※対象児童には令和7年10月1日以降令和8年3月31日までに生まれる新生児も含む

○給付額（児童1人あたり）2万円

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 1,724万円

物価高騰等による家計負担を軽減するため、低所得のひとり親世帯に対して特別給付金を支給する。

○対象者（ひとり親）

①令和7年12月分の児童扶養手当の受給者

②公的年金等を受給していることにより、令和7年12月分の児童扶養手当を受給していない者

○給付額（児童1人あたり）1万円



[上田市HP]

条例改正

上田市地域自治センター条例中一部改正など 全4件

可
決

◆上田市地域自治センター条例中一部改正

上田市地域協議会の設置単位、委員定数、任期及び任務の見直しを図るため、所要の改正を行うもの。

◆上田市太陽光発電設備の適正な設置に関する条例中一部改正

適用範囲について県条例との整合を図るほか、制度上の課題を踏まえ、手続きの明確化等を図るため、所要の改正を行うもの。

◆上田市開発事業の規制に関する条例中一部改正

都市計画法及び現行の取扱いとの整合を図るため、所要の改正を行うもの。

◆上田市職員の給与に関する条例等中一部改正

人事院及び県人事委員会による令和7年の給与改定の勧告を踏まえ、市職員の給与及び各種手当の改定を行うとともに、常勤の特別職及び市議会議員の期末手当について改定を行うため、所要の改正を行うもの。

12月定例会 概要

一般会計18億6,981万円を
一般会計予算総額は788億

※金額の表示単位未満は四捨五入しています。

議案
補正予算
概要

令和7年度一般会計補正予算
(第3号)など 全17件

可決



[補正予算詳細]

補正予算(第3号)の主な事業をピックアップ

常任委員会での審査
概要是P 4-5に掲載

有害鳥獣防除対策事業	190万円
------------	-------

有害鳥獣捕獲実績の増加見込に伴う
報償金の追加計上。



観光施設管理事業 (インバウンド受入環境 整備高度化事業)	436万円
-------------------------------------	-------

鹿教湯温泉旅館協同組合が実施する観光庁の補
助事業を活用した観光振興を目的とする環境整備
に対する支援に係る経費の計上。

- ・補助率 事業主体負担分の 1/2

ふるさと上田応援 寄附金推進事業	1億 5,000万円
---------------------	------------

寄附見込額増加に伴う各種経費の追加計上。
・記念品代、手数料、委託料、基金積立金

交通運輸対策事業	1億 120万円
----------	----------

バス事業者による路線バスの運行経費に対する
補助金及び交付金の追加計上。

- ・廃止路線代替バス運行費補助金
- ・運行協定支援交付金

学校給食負担軽減事業	536万円
------------	-------

学校給食米の令和8年1月供給分からの値上がりに伴い、安定的な学校給食運営及び保護者負担
軽減を図るための経費の追加計上。

自立支援給付事業	5億円
----------	-----

障害者自立支援給付費の追加計上。

- ・居宅介護等支援給付費
- ・施設支援給付費
- ・共同生活支援給付費 他

事件決議

御所沢防災調整池整備工事請負変更契約の
締結など 全14件

可決

- ◆御所沢防災調整池整備工事請負変更契約の締結
(変更後の契約金額：1億 9,360万円)
- ◆公有財産の無償譲渡 2件
- ◆公有財産の無償貸付
- ◆交通事故に係る和解
- ◆上田地域広域連合規約の変更
- ◆公立大学法人長野大学第2期中期目標の変更

- ◆指定管理者の指定 4件 (全 35 施設)
- ◆市道路線の認定
- ◆市道路線の変更
- ◆第五中学校改築事業屋内運動場ほか建設建築主
体工事請負契約の締結
(契約金額：11億 3,190万円)

總務委員會

産業水道委員会

0万円の増額補正となつてゐる

が、理由は何か。

●12月5日に開催し、条例案
1件、予算案2件、事件決議
案5件、陳情1件の審査を行

上田市職員の給与に関する条例等中一部改正

初任給及び若年層に重点を置き、全ての級で賃俸の額を引き上げるが、具体的な引上げ率はどうか。

上田市全体では3・16%の増となつており、具体的には、1級が4・94%、2級が3・93%、3級が3・35%など、特に3級以下が手厚い改定となつてゐる。

一般会計補正予算第3号

問 歳入の個人市民税が1億700

常任委員会の審査概要

「常任委員会」では、条例や補正予算、事件決議などの審査を行いました。

本会議での委員長報告ほか



●12月5日・15日に開催し、予算案10件、事件決議案2件、請願2件、陳情1件の審査を行いました。

策も変化するものであると考えている。

●12月8日に開催し、条例案3件、予算案1件、事件決議案6件の審査を行いました。

費について、市民に対する検査結果の公表方法はどうつか。水質検査結果は、市のホームページにおいて過去の結果も含めて公表しているが、汚水流事故や基準値を大きく上回る結果が出た場合は、緊急情報として市の公式ライン及びメール配信等で注意喚起を行っている。

一般会計補正予算第5号

一般会計補正予算第3号

問 物価高対応子育て応援手当給付金の支給方法について、原則

答 プッシュ型としているが、現時点で子どもが生まれていない対象者への支給方法はどうのよ

うに考えているか。

学校給食料の値上がりに伴い、保護者負担軽減を図るために支援として、約530万円の追加計上がされているが、財源は

どのようにになっているか。

また、物価高による給食費の高騰分について、今後も市として支援を行う考えはあるか。

答 今回の値上げ分については、国

の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用する。

また、現在、国において学校給食費無償化の検討がされており、その状況に応じて市の支援



問 西部地区水路水質検査に係る経

一般会計補正予算第3号

上田市地域自治センター条例中一部改正

問 地域協議会の委員数を24人以内とした理由は何か。

答 令和4年に旧上田地域に6つ

あつた地域協議会を右岸地域と左岸地域に再編した経過を

まわしていく子どもについては、児童手当の認定請求と併せて、申請していたことを予定している。

問 廃止路線代替バス運行費補助金

及び運行協定支援交付金の増額理由は何か。

答 運行収入は運賃低減により横ばいだが、運行経費は、最低賃金の引き上げに伴う人件費及び物価高騰による車両修繕費等が大きく増加していただためである。

22人の議員が市政を問う

12月定例会一般質問要旨

答弁者名は以下のとおり省略して記載しています。

答弁者役職	略称	答弁者役職	略称
市長	市長	教育長	教育長
総務部長	総務	財政部長	財政
市民まちづくり推進部長	市民まち	福祉部長	福祉
健康こども未来部長	健康こども	産業振興部長	産業振興
都市建設部長	都市建設	教育次長	教育次長
上下水道局長	上下水道		

掲載記事は、質問議員本人が作成しており、質問全体の一部を要約したものであります。質問全体の内容については、会議録に掲載されています。会議録は、議会事務局、市内図書館、公民館及び上田市議会ホームページからご覧いただけます。なお、一般質問は上田ケーブルビジョン及び丸子テレビ放送のご協力により、生放送と録画放送を行っています。

インターネットの生中継、録画配信専用サイトはこちら。



▶※二次元コードから各議員の質問の映像を見ることができます。



矢島 昭徳 上志の風



クマ被害の現状と今後の取組

問 クマ出没の実態や県との連携はどうか。

答 (産業振興) 果樹被害や人的被害を含むツキノワグマ目撃情報は51件であり、生息数は増加傾向とされ大量出没となっている。食糧であるドングリの生育状況は平年並みだが、収穫前の果樹など他要因も想定される。県や専門家と連携し対策と情報共有をしていく。

問 市民周知と警戒体制、関係機関との連携はどう

うか。

答 (産業振興) 市と警察で情報共有し、メール配信や地図掲載、目撃箇所周辺に看板を設置することで注意喚起を行っている。下校時の安全確保として、教育委員会等と連携し、保護者への注意喚起や送迎の依頼、巡回を実施している。獣友会には迅速に出動していただいているが、国の方針を踏まえガバメントセンター導入も検討し、体制を整えていく。

【その他の質問項目】

- ・市のコメ政策
- ・農作物の鳥獣被害対策



齊藤 加代美 新生会



(仮称)道の駅まるこの見通し

問 官民連携手法を取り入れる場合、スピード感が決め手となるが、ヒアリング調査から2年経過するなど、時間を要している現状についてどう捉えているか。

答 (市長) 官民連携を前提に令和12年の開業を目指すスケジュールであったが、本年3月以来、財源調達や盛土工事などに関する再精査が必要であることが確認され、9月に基本

計画案を大幅に修正することを公表した。現在は、改めて庁内関係課による事業内容の精査等、関連するさまざまな協議・検討を進めている段階であるため、具体的な事業見通しをお示しすることができない。

問 地域経済を活性化させる事業を優先する選択ができるのは市長であるが、考えはどうか。

答 (市長) 内部で調査中であるため、結果が出次第、進めていきたい。

【その他の質問項目】

- ・合併特例債の活用と合併効果



齐藤 達也 新生会



財政悪化の現状と市長の認識

- 問** 市長は、持続可能な行財政運営を掲げているが、実質単年度収支の3年連続赤字、財政調整基金の枯渉見込み、新規投資余力の低下など、財政状況は深刻である。予測できた未来でありながら、現実として招いた実態について、その責任をどのように認識しているか。
- 答** (市長) 非常に厳しい局面にあり、持続可能な行財政運営のためには重要な岐路である。

必要な予算措置に努めてきたが、結果として現状の厳しさにあること、また監査委員の指摘や議会から附帯意見をいただいたことについては、非常に重く受け止めている。

- 問** これまでさまざまな財政危機への対応策を提案してきたが、実行に移されず現在の結果を招いている。再度、同じ質問だが、その責任をどのように認識しているか。
- 答** (市長) 大きな改革にはなっていないかもしれないが、しっかりと取り組んできたと考えている。



松尾 卓 公明党



財政状況と市政運営

- 問** 実質単年度収支3年連続赤字よりも、経常収支比率が高止まりする財政硬直化という構造的危機が課題であると考える。財政状況の総括と課題への対応策はどうか。
- 答** (市長) 財政硬直化は人口減少や高齢化に起因する長期的な問題であり、抜本的な対応が不可欠である。令和8年度予算編成から政策的経費を含め部局別枠配分予算を拡大し、歳

入に見合った歳出構造への転換を目指す。

- 問** 財政硬直化はインフラの維持・更新や防災対策等への投資の遅れを招くリスクがある。老朽化施設の統廃合などの具体策はどうか。
- 答** (総務) 改訂中の公共施設等総合管理計画では、20年間で20%削減する目標を設定した。優先順位を明確にし、計画に反映させていく。
- 問** 財政状況を分かりやすく伝えるダッシュボードの導入により、公共施設の統廃合の議論を促進し、市民理解につなげる考えはあるか。
- 答** (財政) ダッシュボード導入については費用対効果や運用体制を含め、検討・研究する。



泉 弥生 日本共産党上田市議団



第三次上田市図書館基本構想

- 問** 子どもたちや市民にさまざまな分野の本に興味・関心を持ってもらえるようなレイアウトを市民や司書と協働で展開してはどうか。
- 答** (教育次長) 市民の皆様と協力して、新しいアイデアを取り込みながら進めていく。
- 問** 図書館に本がある遊び場を設け、幼少期から本に触れ合える機会をつくる考えはあるか。
- 答** (教育次長) 子どもたちが本に触れるきっかけ

づくりは、図書館の責務であり研究する。

- 問** 目に見える形で残る子どもの読書通帳を図書館に取り入れてはどうか。
- 答** (教育次長) 安価なものもあるということなので、研究していきたい。
- 問** 保護者の声から会話をしてもよい図書館が増えている。取り入れる考えはあるか。
- 答** (教育次長) 基本構想案の利用しやすく居心地よい施設に向けた整備の中で取り上げた。
- 問** 車椅子の方の意見を聞き改善してはどうか。
- 答** (教育次長) 誰もが利用しやすい図書館となるように取り組む。



土屋 勝浩 新生会



上田再構築プランVer2.0の進捗状況

問 市長は、前回の市長選挙の公約で「大切な市民の生命を守り続ける医療体制の充実を推進する」と述べているが、これまでの成果をどう判断しているか。

答 (市長) 地域の中核病院である信州上田医療センターは、令和4年と比較して医師数は8人の増加、看護師数も33人の増加となっており、医療従事者の充実は着実に図られて

きていると考えている。また、地域の周産期医療体制については、産婦人科病院が閉院となつたが、信州上田医療センターへ機能集約を図ることができ、上小地域の分娩件数は年間1000件を超える状況を維持できている。

問 9月議会の最後に、市長は次の市長選挙への出馬の意欲を示されていたが、現在でも出馬の意思は揺るぎないものであるか。

答 (市長) 2期8年のさまざまな実績を踏まえ、山積する課題に対して真摯に向き合うために、市長選挙に挑戦させていただく。正正の旗を掲げ、堂堂の陣で邁進していく。



宮下 省二 壮志会



持続可能な自治体運営

問 人口減少時代の行政運営は、自治体の生き残り戦略としてさまざまな事業が広範に展開していくものと考えるが、市の見解はどうか。

答 (市長) 消防や収納管理のように広域連合による事務や施設の共同運用も行政運営を効率化する有効な手段であり、さまざまな分野、形での広域連携が一層重要になると考える。

問 市が検討する水道広域化は、自治体の在り方

を方向づける極めて広く深みのある見解での対応が求められるが、見解はどうか。

答 (市長) 広域化の是非は、市として主体的に判断すべき重要なテーマと考える。その中で、3つの視点を大切にしている。「目先にとらわれず長期的な視点で考える」「物事を一面だけでなく、多面的、全体的にとらえる」「枝葉末節にとらわれず、課題の根本を見極める」これらの視点から広域化が当市にとってどのような利点と課題を持つのか整理を行い、将来世代に負担を先送りしない持続可能な水道運営の姿を描くことが重要と考える。



池上 喜美子 公明党



若者の孤独・孤立対策

問 義務教育や高校を卒業した後の引きこもり状態にある若者の支援の現状と取組はどうか。

答 (福祉) まいさぽ上田などへの相談は39歳までの若年層がおおむね半数で近年増加傾向にある。各相談機関が実施しているさまざまな事業を広く市民に周知し、適切な相談機関につなぐ仕組みを構築していきたい。

問 「つながりサポーター」養成の考えはどうか。

答 (福祉) 孤独・孤立の知識を身につけ、身の回りの人に関心を持ち、できる範囲で困っている人をサポートする「つながりサポーター」は非常に重要と考える。今後、県が圏域ごとに養成講座を開催する予定である。機会を捉え、養成に向けた啓発活動を進めていき、孤独・孤立状態にある方に早期に寄り添い、適切な支援につなぐ仕組みを整えていきたい。

【その他の質問項目】

- ・ユースセンターの設置
- ・奨学金返還支援



中村 知義 上志の風



自治会と住民自治組織

問 地域別の自治会加入率はどうか。

答 (市民まち) 右岸地域が約 77%、左岸地域が約 80%、丸子地域が約 93%、真田地域が約 95%、武石地域が約 98%である。市全体では 81.5%で、直近 10 年で 10%近く低下している。

問 10 年先を見据えた時、自治会と住民自治組織の役割は何か。

答 (市民まち) 自治会は、会費を徴収して会員の親睦や互助のための活動を行い、住民自治組織は、単一の自治会では対応が困難となる地域共通の課題やまちづくりに対して、もう一回り大きな枠組みの中で、自治会をはじめさまざまな主体が参画し、連携しながら活動をするという役割は、10 年先も大きく変わらないと考えている。しかし、自治会加入率が減少していく中で、将来にわたり持続的な組織としていくための検討が必要である。

【その他の質問項目】

- ・スポーツ施設



半田 大介 公明党



中学校部活動の地域展開

問 地域クラブの登録状況から、団体競技種目は、通う生徒が遠方にならないエリアごとに配置できる見込みはあるか。

答 (教育長) 近隣の学校同士で地域クラブ化ができるように相談・調整する方向でいる。

問 個人競技種目は民間クラブ所属で中体連の大會に出場できるか、またその対応はどうか。

答 (教育長) 学校の部活動がなくなる令和 9 年度以降も大会参加が可能となるよう中体連に要望をしていきたい。

問 地域クラブ運営のため会費徴収、指導者への報酬支払等を行う人材の育成をどうするか。

答 (教育次長) 必要な規約の作成等は丁寧に相談対応を行うなど初期段階での支援には特に力を入れたい。立ち上げ後の会費の徴収、クラブ内の連絡手段等の運営はデジタルツールの活用による負担軽減を検討している。

【その他の質問項目】

- ・信州オープンアスクール
- ・教育大綱と第 4 期上田市教育支援プラン



古市 順子 日本共産党上田市議団



国民健康保険

問 来年度の国民健康保険税については、物価高騰により市民生活が大変苦しい中、子ども・子育て支援金制度も始まるため、基金を活用して引き上げるべきでないと考えるがどうか。

答 (健康こども) 県からの情報や社会情勢等を慎重に見極め、上田市国民健康保険運営協議会へ諮問し、答申をいただく中で来年度の保険税率を改定していく。

問 子育て支援に逆行する 18 歳未満の子どもの均等割は、軽減措置を実施すべきではないか。

答 (健康こども) 県国民健康保険運営方針の中に、減免基準の統一作業も含まれていることから、市独自での実施は難しいと考えている。先般、国でこの軽減措置の対象を高校生年代まで拡大する検討を始めたとの報道もあるため、対応を注視していきたい。

【その他の質問項目】

- ・水道事業広域化
- ・団体補助金
- ・学校給食費無償化



金沢 広美 公明党



財務書類の活用

問 地方公会計制度に基づく財務書類は、単なる決算の結果を示す資料ではない。可視化される市の資産価値や将来負担など、単に財政分野にとどめず、政策立案や公共施設マネジメントの判断基準として、今後どのように活用する予定か。

答 (市長) 財務書類や固定資産台帳から得られる資産、負債の状況やコスト情報を分析し、

施設のライフサイクルコストや将来負担を可視化することで、更新・再編の優先度を判断することは、持続可能な市政運営を確保する上で、極めて重要である。施設整備は建設費のみならず、運営費を含めた検討を行い、財務書類の活用に類する取組を実施してきた。今後は財務書類から得られる情報をさらに活用し、可能なものから取組を進めていく。限られた財源を効果的に配分するため、情報を有効活用し、提案の趣旨を踏まえ引き続き取り組んでいく。



堀内 仁志 上志の風



市の学力向上

問 令和7年度全国学力・学習状況調査における小学6年生と中学3年生の結果について、市の分析と課題はどうか。

答 (教育長) 県の施策である少人数学習や市の施策である小中連携の授業などの成果により、なかなか得点の取れない児童生徒は、少なくなってきている。しかし、上位層の児童生徒をさらに伸ばすという点については、ま

だ成果が見えてきていない。

問 教育長は学力をどう捉えているか。

答 (教育長) 生きる力の基となる確かな学力、つまり児童生徒が自分らしい生き方を選択し、他と関わり合いながら、よりよい人生を進んでいくために必要な力と捉えている。

【その他の質問項目】

- ・全国学力・学習状況調査の目的・形態
- ・市の教員の研修・研究授業の現状
- ・市の学力向上へのAIの活用状況



飯島 伴典 上志の風



歩きたくなるまち上田

問 ビジョンはどうか。

答 (都市建設) 令和6年3月に改定した上田市都市計画マスタープランにおいて、ウォーターブルの推進を掲げている。中心市街地では、歩行者中心のまちづくりを進めており、社会実証実験を重ねながら、上田城城下町エリアビジョンを策定中である。公民で共有し、持続可能なまちづくりを進める。

問 歩くことの効果をどう位置付けるか。

答 (都市建設) 移動手段にとどまらず、健康増進や医療費抑制、滞在時間や消費の増加による経済活性化など重要な要素と考えている。

問 財源活用と計画推進はどうか。

答 (市長) 国の制度や支援策を適切に活用する。ストーマ対応を含め、ユニバーサルデザインの考え方を計画等に位置付けていく。

【その他の質問項目】

- ・公共事業の意義



石合 祐太 新生会



水道事業広域化基本計画の合意

問 市民や議会の懸念の声がある中で、上田長野地域水道事業広域化協議会で基本計画の合意に踏み切った理由は何か。

答 (市長) 基本計画は詳細協議の出発点であり、広域化の最終判断ではないことや市民、議会の懸念を整理するためにも次の段階である事業計画の協議に進む必要があることを総合的に考慮した上で、合意したものである。



井澤 耕 新生会



国道143号の整備と安全確保

問 国道143号青木峠バイパスは今年着工となり、開通後は交通量の増加に伴い危険性も高まることが懸念される。安全対策はどうか。また、安全対策として、既存道路の拡幅や新たなバイパスの整備といった抜本的な改善が必要と考えるが、国や県とどのような協議を行っているか。

答 (都市建設) 青木峠バイパス開通後の交通量

問 重要協議事項を確認してから基本計画に合意すべきではないか。

答 (市長) 基本的事項に合意してから重要協議事項を含む詳細協議に臨むことが、効率的で透明性の高い議論につながると判断した。

問 次期市長選には態度を示すべきではないか。

答 (市長) 必要な情報が出揃い、市民の理解が得られる段階で説明責任を果たしつつ判断を示すことが市長としての責務である。

【その他の質問項目】

- ・住民主体の移動支援事業のモデル地域の設定
- ・香害

の増加に伴う危険性の高まり、安全対策の必要性は市としても認識している。道路整備及び歩行者の安全確保に関する要望書を提出し、関係機関と連携しながら安全対策の推進を図ってきた。道路拡幅や新たなバイパス整備については、財源の確保や必要となる用地の取得などの課題もあり、さまざまな検討が必要である。今後も整備計画の検討や事業化に向け県と緊密に連携し事業推進に努めていきたい。

【その他の質問項目】

- ・水道事業の広域化



飯島 裕貴 新生会



行財政改革の推進

問 次期大綱に基づくアクションプログラムへ引き継ぐ課題、要点をどう認識しているか。

答 (総務) 地域協議会や住民自治組織の在り方の検討、公共施設マネジメントの取組、市有財産の適正管理、遊休資産の利活用などは持続可能な行政運営に不可欠な課題であり、次期計画においても重点的に取り組むべき事項と認識している。

問 次期プログラム策定はどう進めていくか。

答 (総務) 取組項目、改革の概要、改革の手段、改革達成形態などを明示して市民の皆様に分かりやすい行財政改革の指標とすることを基本とする。可能な限り取組項目ごとに*KPIを設定し、進捗を定量的に把握する仕組みを導入したいと考えている。P D C Aサイクルを確実に回すことでの透明性と説明責任を高めていきたい。

【その他質問事項】

- ・令和8年度予算編成方針



武田 紗知 上志の風



夏の放課後児童クラブと児童館の空調管理

問 各施設内の室温、湿度などの把握はどうか。

答 (教育次長) 各施設に夏場の室温・湿度の記録を依頼し、実態を把握することでエアコンの修繕や更新、増設の検討に活用している。昨年度の記録を踏まえ、今年度、神科、大星、川辺町の各児童センターにスポットクーラーを試験導入した。導入前後の室温を比較する

ことで、効果の検証を行っている。

問 猛暑が常態化する中で、子どもの安全をどう守るか。

答 (教育次長) 老朽化した施設では、エアコンのみで適温に保つことが難しいため、遮光カーテンなどを用いた工夫を行っている。また、過密による室温上昇を改善するため、学校の空き教室を活用した児童の分散化を検討している。来年度には、東部児童クラブの改築や秋和児童センターの改修を計画している。

【その他質問事項】

- ・上田の魅力を生かした財源確保



松山 賢太郎 壮志会



自治会活動維持・発展支援策

問 自治会加入促進策として、自治会加入者限定の割引サービスや市内事業者等特典提供制度を実施する考えはあるか。

答 (市民まち) 自治会加入の最大のメリットは互助・共助体制の確立と捉えている。自治会非加入者との受益の公平性も考慮する必要があり、まずは市と自治会連合会で情報交換を行い、各種優遇策やサービスの提供方法等、

先進事例を参考にして研究していく。

問 自治会の重要性と自治会加入促進を強化する「(仮称) 自治会加入促進条例」の制定が必要と考えるが、見解はどうか。

答 (市民まち) 市では有識者を招聘し、市の取組検証と市政三者懇談会からの要望や住民自治組織、地域協議会からの意見を踏まえて協議しながら、自治会加入促進を含めた今後のまちづくり推進体制の検討を進めている。自治会加入促進に係る条例の制定も併せて協議していく。



村越 深典 壮志会



ため池の今後の活用と市による管理

問 ため池の管理者に対し、現在どのような安全点検や維持管理の支援を行っているのか。

答 (産業振興) ため池の維持管理に必要な修繕工事等については、市から一定の支援を行う分担金、補助金制度があり、この制度を活用して修繕工事等を実施するため池管理者に対し、支援を行っている。防災重点農業用ため池については、おおむね5年に1回の定期点

検を市と県土地改良事業団体連合会がため池管理者に代わり実施している。さらに、年に1回、県などがため池関係者を対象としたため池監視・管理体制強化等に係る研修会を開催しており、これらの機会を通してため池に関わる相談を受け、技術的な指導及び助言を行うとともに、ため池の異常箇所の早期発見と、ため池管理者の安全管理に向けた意識啓発を図っている。

【その他質問事項】

- ・スポーツ施設の適正配置と改修
- ・国際交流事業



高田 忍 壮志会



(仮称)水源ネットワーク構想

問 市内水源を面的につなぐ(仮称)水源ネットワーク構想の検討はどうか。

答 (上下水道) 市内管路網を面的に連結する管網整備を進めることにより、非常時の相互融通が可能になる。水源ごとの特性や能力を最大限生かした水運用が図られると考えている。緊急連絡管の整備などによるバックアップ体制の構築に向けて引き続き検討する。



西沢 逸郎 壮志会



特定都市河川の指定

問 令和8年1月30日に、長野県内で初めて矢出沢川と黄金沢川が特定都市河川に指定されると聞いている。法律に基づき流域治水を強力に推進することが可能になるとともに、指定により流出抑制に係る対応や手続が必要となる。市の今後の関わり方、取組はどうか。

答 (都市建設) 市の関わりとして、流域水害対策協議会に参画し、流域の関係者と協議連携

問 丸子・武石地域の水を市内全体の予備水源として活用できるよう今後の水道広域化の計画の中に位置付ける考えはあるか。

答 (上下水道) 丸子・武石地域の水源は市全体の水運用を最適化していく上で大変重要な役割を担う。今後も広域化の検討の中でしっかりと位置付け、構成団体と情報を共有しながら、地域全体としてより安定した水供給を実現できるよう検討を深めていく。

【その他質問事項】

- ・市内消火栓の維持管理と点検体制

しながら流域水害対策計画の策定を進めいく。策定後は、矢出沢川及び黄金沢川に関する事業は県が実施し、準用河川や普通河川に関する事業は市が担当する。特定都市河川の指定により、新たに必要となる許可申請は、県が窓口となる。今回の特定都市河川の指定を防災・減災対策の契機の一つと捉え、市においても流域治水の一層の推進を図り、市民の安全・安心の確保に努めていく。

【その他の質問項目】

- ・保育の現場
- ・スポーツ施設の整備

傍聴者

声

本会議を傍聴されたみなさんの声

～こんなご感想をいただきました～

12月定例会本会議の傍聴者数は延べ36人でした。

傍聴された皆さんから寄せられた、ご感想やご意見の一部を紹介します。



- もっと傍聴する人が増えたらいいなと思います。
- 自分たちがどうにかならないかなと思うことに対して、市がどのように考えているのか、「私、主体の目線」ではなく、「市、大きな客観的な目線」を知れて良かった。
- 議会は上田市が発展していく要だと思う。

＼令和7年度議員と語ろう／

テーマ別車座集会

を開催しました

令和7年8月から11月にかけて、常任委員会ごとにテーマを設け市民と語り合うテーマ別車座集会を開催し、総勢145名の方にご参加いただきました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。いただいたご意見・ご提案は今後の委員会活動に生かしてまいります。

総務委員会

テーマ

地域防災力を高めるために 消防団の未来を語ろう♪

11/6



上田市消防団の本部長、副本部長、分団長会長、分団長に参加いただき、「各分団の活動報告」「地域防災力を高めるために必要なこと」をテーマにグループ討議を行いました。

【参加者の意見】

- ・消防団員確保のため、団員への直接的なメリットの創設。
- ・昼の時間帯に対応できる団員が少ないため、機能別団員、消防団OB、自主防災組織との連携が大切。
- ・自主防災組織の中に機能別消防団員を創設し、そことの連携を通して自治会との連携強化につなげてはどうか。
- ・各分団の活動や課題を聞けて良かった。
- ・議員と対話する良い機会となつた。今回の議論を将来につなげていけたら良い。

産業水道委員会

テーマ

水道事業広域化

8/21



おいしい水を広める市民の会及び市上下水道局の方をパネリストに迎え、参加者による意見交換を行いました。

【参加者の意見】

- ・このまま水道料金を上げずに、耐震補強が可能なのか。恐ろしく人手不足の中、技術者を増やすことができるのか。
- ・市は早く結論を出し、本来の市の水道のことをもっと真剣に取り組んだ方がいい。
- ・パネリストの話が分かりやすく理解が深ました。
- ・現状、経過、問題点がよく分かりました。

教育厚生委員会

テーマ 子どもの多様な学びの場

11/15



テーマについて、感じてることや今後、取り組んでいくべき課題についてワールドカフェスタイルで意見交換を行いました。

【参加者の意見】

- ・スクールカウンセラーやフリースクール、ふれあい教室などの存在を知らない人が多くいるため、広く情報発信することが重要。
- ・全体から個に視点を移したきめ細やかな教育となるよう、現在の制度を見直す必要があるのではないか。

【感想】

- ・市の実情を聞いたり、要望を伝えたりすることはとても大切だと感じた。
- ・初めての参加で緊張したが、日頃から感じていることを伝える場があつて良かった。

環境建設委員会

テーマ 地域課題

11/10



住民自治組織役員の皆様と「現在の活動状況」及び「組織の課題」について意見交換を行いました。

【参加者の意見】

- ・少子高齢化等の要因による役員のなり手不足及び後継者の育成が課題。
- ・市は地域内分権を掲げているが、全地域で住民自治組織が設立されている。
- ・交付金の対象経費の拡充等、柔軟な運営ができるよう、交付要綱等の改正が必要を感じている。

【感想】

- ・小グループで話し合ったことでより良い情報交換ができた。
- ・各組織の現状の悩みなど共通する意見が多く、今後の活動の参考になつた。次回の開催も検討してほしい。

広報広聴委員会

テーマ 学生発！上田アップデート

10/20



市内の高校生及び大学生が考える「改善したほうがいいところ」「魅力アピール方法」などについて意見交換を行いました。

【参加者の意見】

- ・塾に行くお金がなく、家で勉強できない学生もいることから、夜遅くまで勉強ができる、飲食可能な図書館を整備してほしい。
- ・市が実施しているイベントの運営を学生と共同で行ってみてはどうか。

【感想】

- ・他の学校の人との交流もあり、さまざまな議論ができる良い経験になりました。
- ・普段感じていることを気楽に発言できる良かつた。

関して、他自治体の先進的な取組などを市政に反映させるため、行政視察を行っています。
内容の詳細は、上田市議会ホームページをご確認ください。



総務委員会

1 兵庫県神戸市 「防災・減災の取組」

阪神・淡路大震災を経験した神戸市では、災害時の職員体制や防災DX（帰宅困難者支援システム等）など先進的な取組が行われていた。特に防災福祉コミュニティを結成し、担当の消防係員を付け訓練支援等を行っており、1コミニュニティあたり年間6～7回の訓練を行っている。上田市でも、訓練方法や災害に対する備えについて悩んでいる自主防災組織があるため、組織ごとに職員が伴走支援を行うことは有効であると考える。

2 岡山県津山市 「公共施設再編（※¹FM、※²PPP）の取組」

津山市では、「グラスハウス（市営プール）」を民間の資金で改修・管理し、運営を任せることにより、魅力ある施設に生まれ変わらせるとともに、赤字施設から市の収入に変えていた。上田市も合併により旧市町村単位で設置されている公共施設の維持・管理に課題を抱えており、今後の参考となる取組であった。



[兵庫県神戸市]

3 神奈川県横浜市 「横浜市人材成長戦略2025」

横浜市では、横浜市人材成長戦略を策定し、人的資源のマネジメントのためのタレントマネジメントシステム（力オナビ）の導入や庁内副業（i-share制度）、庁外副業（ハマ活応援制度）など、職員の成長や組織の活性化のためのさまざまな取組を行っていた。

横浜市の人材成長戦略は少額の予算で作成されており、人材の確保・育成・定着のためにも、上田市でも取り組みたい内容があつた。

*¹FM…施設を経営的な視点で総合的に管理・活用し、最適な状態に維持・再編していく活動
*²PPP：公共サービスを民間と連携して提供する手法の総称

産業水道委員会

1 香川県広域水道企業団 「水道事業広域化」

香川県内における水道事業地域化では、人口減少に伴う料金収入の減少や各水道事業体の職員の高齢化などに加え、水源が乏しいという香川県特有の課題が背景にあり、県が調整役として大きな役割を果たした。

物価高騰や人件費の上昇により、基本計画策定時に比べると企業団の経営は厳しい状況にあることから、上田長野間の水道事業の在り方についても、計画どおりにいかないことを想定する必要がある。

2 香川県小豆島町 「小豆島観光ビジョン」

小豆島にある小豆島町と土庄町では、観光窓口を一本化し、小豆島観光ビジョンを策定した。令和6年には、持続可能な観光の国際基準に基づき優良な地域を選出するグリーンデストイネーションズアワードのシルバー賞を受賞するなど、さまざまな国際認証の取得に力を入れている。



[香川県小豆島町]

者数は少なく、国際認証の取得も含めたプロモーション活動を検討・実施していくことが望まれる。

3 国土交通省 「水道事業広域化」

令和6年に、上水道の整備や管理が厚生労働省から国土交通省に移管された。水道管が老朽化し、維持管理が難しい自治体があり、地方整備局を持つ国土交通省に事業を移管することでインフラの整備等を進める狙いがある。

上田市においても、管路等の維持管理のための財政運営は厳しさが増しており、国の補助メニューを活用していくことが肝要であり、水道事業広域化についても、財政支援や他事例の実績・動向を踏まえて検討していく必要がある。

委員会行政視察報告

各委員会では、所管する事務事業が抱える課題について報告します。報告

教育厚生委員会

1 兵庫県明石市「あかしふりースペース」のば、「あかしインクルーシブ条例」

明石市では、子どもたち一人ひとりが生きる力を育むことができる居場所として、公設民営型のフリースペースを運営している。また、誰もが暮らしやすいまちを目指して、「あかしインクルーシブ条例」を制定した。明石市の子どもを中心とした取組は、こどもまんなか応援サポート宣言をした上田市においても参考にするべきである。

2 大阪府大阪市「大阪市立和中学校」

大阪市では、不登校または不登校傾向の生徒の実態に配慮して、特別に編成された教育課程に基づく教育を行う心和中学校を開校した。校則は2つだけ、総授業時間は770時間（標準授業時間は1015時間）など特徴がある。

上田市においても、オープ



[大阪府大阪市]

ンドアスクールの開校に向けて、ハード面・ソフト面の両面において、さらに議論を重ねて、検討する必要がある。

3 学校法人きのくに子どもの村学園

きのくに子どもの村学園では、本やドリルの勉強よりも、プロジェクトと呼ばれるものづくりや研究を行う活動を重視しており、感情・知性・人間関係の面で自由な子どもが育つようになりキユラムを組んでいる。上田市では、オープンドアスクールの開校を予定しているが、単に学校を新設・増設するのではなく、今、どのような学校が求められているか探求した上で、開校に向けた取組を進めることの必要がある。

環境建設委員会

1 東京都世田谷区（一般財団法人世田谷トライストまちづくり）「地域共生のいえづくり支援事業」

まちづくりでは、地域のつながりを強化するため、建物の所有者が主体となり自宅の空いている部屋などを地域の人々の交流を広げる場及び地域のまちづくりを支援する場として提供し、地域の居場所づくりを行う、地域共生のいえづくり支援事業の取組を行っている。

2 北海道鹿追町「バイオガスプラント及び脱炭素社会への取組」

鹿追町では、家畜ふん尿の適切な処理による環境改善及び持続可能な農業経営基盤の強化への取組として、牛ふん等を処理するとともにメタン発酵による発電、発酵後の副産物を液体肥料として活用する、バイオガスプラント「鹿追町環境保全セン

ター」を建設し稼働している。

上田市でも、臭気問題について、さまざまな立場の意見を考慮し、早期の課題解消に向けた取組を進めることが重要である。

3 北海道帯広市「移住定住促進の取組」

帯広市では、移住定住促進として、民間事業者との連携により、滞在施設を割安で提供し、短期間の移住体験により地域の気候や生活環境の実態を体験し、移住希望者の「生活のイメージが持てない」不安を解消し、住みやすさを感じてもう一つ取組を行っている。



[北海道鹿追町]

議会運営委員会

1 神奈川県秦野市「議員間討議、政策提言の取組、その他の議会改革の取組」

秦野市では、通常会期制を導入し、政策立案機能の強化や機動的な議会運営を進めている。また、常任委員会の機動性を活かし、各常任委員会で選定したテーマについて所管事務調査や関係団体との意見交換を踏まえた調査研究をして、その成果を執行部に対して政策提言を行っている。

上田市においても、議会報告会で出された市内の関係団体等の参考意見をまとめて政策提言につなげていく議員のファシリテーション能力の向上、議員の質の向上とともに、政策提言に関わっていたらしくアドバイザーの設置を検討することも必要と考える。

2 埼玉県所沢市「政策討論会、議会改革の取組」

所沢市議会は、議会改革において先進地であり、議会基本条例制定後の毎年の議会評価、改選後の見直しなど、適宜協議・検討を行うとともに、市民に開



[埼玉県所沢市]

かれた分かりやすい議会、負託に応えられる議会を目指し取り組んでいる。

議員からの説明により、議会改革を議員が主体的に、かつ有識者の意見を伺うとともに、政策討論会を経て政策形成サイクルを回していることに刺激を受けた。この視察で得たことを最大限生かし、上田市議会として改革すべきは改革していくよう努めたい。

上田市議会としても、読んでもらひえる議会だより作成のため、表紙づくりやレイアウト方法、表現方法などあきる野市の取組を参考にして、工夫を行う必要がある。

2 静岡県御殿場市「未来議会プロジェクト、高校生と議会の交流について」

御殿場市では、市民に対し、議会や行政に関心を持つてもらい、開かれた議会を目指すとともに、議員のなり手不足解消そのため、未来議会プロジェクトを実施している。市内の高校生を対象に議会体験や議員との意見交換を通じて、議会の役割や

広報広聴委員会

1 東京都あきる野市「議会だよりについて」

あきる野市では、議会だよりの読者を増やす取組として、興味を引く表紙や特集の作成、市内の小学生が夢を語るコーナーを掲載している。また、読みやすい内容にするため、行政用語を出来るだけ市民の方に伝わりやすい言葉で表現したり、写真付きで掲載することで分かりやすく伝える工夫をしている。

上田市議会においても、開かれた議会を目指すため、市民のみんなに議会について広く周知を行っていくなければならない。そのためには、待つだけ、発信するだけでなく、足を使い行動に起こすことが大切である。



[東京都あきる野市]

仕組みを理解してもらい、政治・議会、そして市議会議員への関心を深める取組となっている。

皆さんからの請願・陳情4件を審査

請願

※請願第2号は令和7年9月定例会に提出された請願の継続審査です。

請願番号	件名	提出者	審査結果
請願第2号	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の請願	上田市教職員組合 執行委員長 宮澤 裕子氏 (紹介議員:古市 順子議員)	継続審査
請願第4号	高額療養費の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める請願	上小・東御地区社会保障推進協議会長 中村 和幸氏 (紹介議員:泉 弥生議員)	継続審査

陳情

陳情番号	件名	提出者	審査結果 (付託委員会)
陳情第9号	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子氏	継続審査 (教育厚生委員会)
陳情第11号	職員団体の組合費給与天引き(チェックオフ)手続の適正運用および行政の政治的中立性確保を求める陳情	パワハラから職員を守る長野県民の会 代表 衣川 弘明氏 ほか2人	不採択 (総務委員会)

議員が自主製作!!

iPadを駆使して議員自ら撮影から編集まで行い、市議会の各常任委員会と議会運営委員会の活動報告を動画にまとめました。

上田市議会YouTubeチャンネルで配信しています。ぜひご視聴ください！

上田市議会 YouTube チャンネル



令和7年度議会活動報告動画 インターネットで配信中！



公職選挙法の禁止事項について

～市議会議員がイベントや会合などで寄附や飲食物を差し入れることは禁止されています～

公職選挙法では、市議会議員が選挙区内の方々に対して、いかなる名目であっても金銭、物品を問わず寄附を行うことは罰則を持って禁止されています（公職選挙法第199条の2）。

地域のお祭りや懇親会などで、寸志や差し入れを行う場合や景品を提供することも寄附とみなされます。



市民の皆様へのお願い

会費制の懇親会などで、一般の参加者と同じ会費を支払うことは寄附に当たりませんが、金額の明示のない状態で、市民が議員に会費を求めることがや議員が金銭を支払うことは、罰則をもって禁止されています。懇親会などに議員を招待される際には、会費の金額を明確に定めてください。

出典：公益財団法人 明るい選挙推進協会「寄附禁止 正しく守って明るい選挙」、長野県選挙管理委員会ホームページ 等

手話 を学ぼう

「挑戦する」

市議会だよりでは、「いま覚えてほしい手話」をお伝えしています。

今回のテーマは

「挑戦する」

後列②



前列①

「長野県ホームページ」「手話辞典」



①両手の親指を立てる。
②左手に右手を斜め下から近づける。

議会だよりについてご意見をお聞かせください。

市民の皆様に分かりやすく、読んでいただける議会だよりを目指して
読者アンケートを実施しています。
よりよい紙面を作っていくためにご協力をお願いします。

アンケートの回答はこちらから



広報広聴委員

飯島 武田 中村
裕貴 紗知 知義

な物のとなることを願つて
情報を発信に努めてまいります。
今後ともよろしくお願ひます。

広報広聴委員会は、引き
続い議会広報・広聴活動を
行つた「議会活動報告動画」
を昨年同様、配信いたしました。
また、議員が自主製作を

した。ぜひこちらもご覧ください。

市議会だよりをお読み
いただき、ありがとうございます。
表紙には、市民の皆様の
声を直接伺う「車座集会」
の様子を掲載しました。今
年も大変多くの方にご参加
いただき、誠にありがとうございました。
ごぞいました。皆様から
ただいた貴重なご意見は、
今後の議会活動の参考とさ
せていただきます。

編集記
後記

紙面の二次元コードはアクセス解析のためにCookieを使用しています。アクセス解析は匿名で収集されており、個人を特定するものではありません。Cookieを無効にすることで、Cookieを用いた収集を拒否することができますので、お使いのデバイスのブラウザの設定をご確認ください。

上田市議会だより No.104
12月定例会 令和8年2月16日号

令和8年2月16日発行
発行：上田市議会
〒386-8601 上田市大手一丁目11番16号
TEL:0268(22)0452 FAX:0268(23)5136
E-mail : gikai@city.ueda.nagano.jp

編集：広報広聴委員会
委員長：金沢 広美
副委員長：村越 深典
委員：中村 知義・武田 紗知・飯島 裕貴・古市 順子
高田 忍・石合 祐太・齊藤 加代美
印刷：田口印刷株式会社



この印刷物はグリーン購入法の基準を満たす紙と植物油インキを使用しています。